学校番号	２１８

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語基礎	2	1	総合英語 Harmony English Grammar23 総合英語 Harmony English Grammar23 Workbook 総合英語 Harmony New Edition 英単語ターゲット 1200

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語を使えるようになるためには、どんなことを勉強したらいいでしょうか。英語の音楽や映画を聴いたり観たりすることでしょうか？それとも外国人と話す機会を持つことでしょうか？これらも大切な勉強法の一つですが、そもそも言っていることが分からなければどうしたらいいのでしょうか？まずは英語を理解するために覚える必要があるのは「語彙」とその単語を並べるルールである「文法」を学ぶことです。それらを知らなければ、英語を「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」ことはできません。英語学習の基礎は語彙と文法から始まります。この授業では、高校で学ぶ英語の基礎となる文法を単元ごとに語彙と共に学んでいきます。

まずは様々な英文を通して理解を深めることを目指しましょう。そして学んだ項目を使って「自分の言いたいこと」を表現できるように挑戦しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれた　ごく短い説明を読み､挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話す、繰り返す､簡単な語句に言い換えるなど）があれば､ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の気持ちや考えなどを､簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙、表現、文法等の理解を深めたうえで、これらの知識を実際のコミュニケーションの場面において適切に活用できる段階までに到達する。	日常的・社会的な話題に関して書かれた英文の構造を適切に理解する。また学んだ項目を活用して自分の伝えたいことを適切に表現する。	自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとするとともに、共通の目標に向かって他者と協同して取り組む態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	英語の語順(文型)(1) 英語の語順(文型)(2) 時制(1) 時制(2) 時制(3)	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする。 c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	完了形(1) 完了形(2) 完了形(3) 助動詞(1) 助動詞(2) 受動態	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト

		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする。 c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	期末考査			
2学期	不定詞(1) 不定詞(2) 不定詞(3) 動名詞 plus 動名詞と不定詞	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする。 c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	中間考査			
	分詞(1) 分詞(2) 関係詞(1) 関係詞(2) 関係詞(3)	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。:	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする。 c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	期末考査			
3学期	比較(1) 比較(2) 仮定法 plus 仮定法	聞くこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に聞き取ることができる。 b: 英語特有の発音やアクセント、単語と単語のつながりに注意して聞き取ることができる。 c: 重要な情報を適切に聞き取れるように努めている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 情報を読み取るために必要な語彙、表現、文法等を適切に理解する。 b: 述べられている情報を整理して、要点を理解する。 c: 重要な情報を適切に理解できるように努めている。	小テスト 定期考査

		話すこと (やり取り)	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を身につけて、話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 適切に伝わるようにペアまたグループにおいて協同して努める。	スピーキングテスト
		話すこと (発表)	a: 必要な語彙、表現、文法等を使って、改まった場面においても話せるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて話せるようにする。 c: 習得した項目を使って適切に表現できるように努めている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 他者に適切に伝えるために必要な語彙、表現、文法等を使って書けるようにする。 b: 同一の事柄でも異なる表現方法を理解し、それらを用いて書けるようにする。 c: 習得した項目を使用して適切に表現できるように努めている。	小テスト 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度